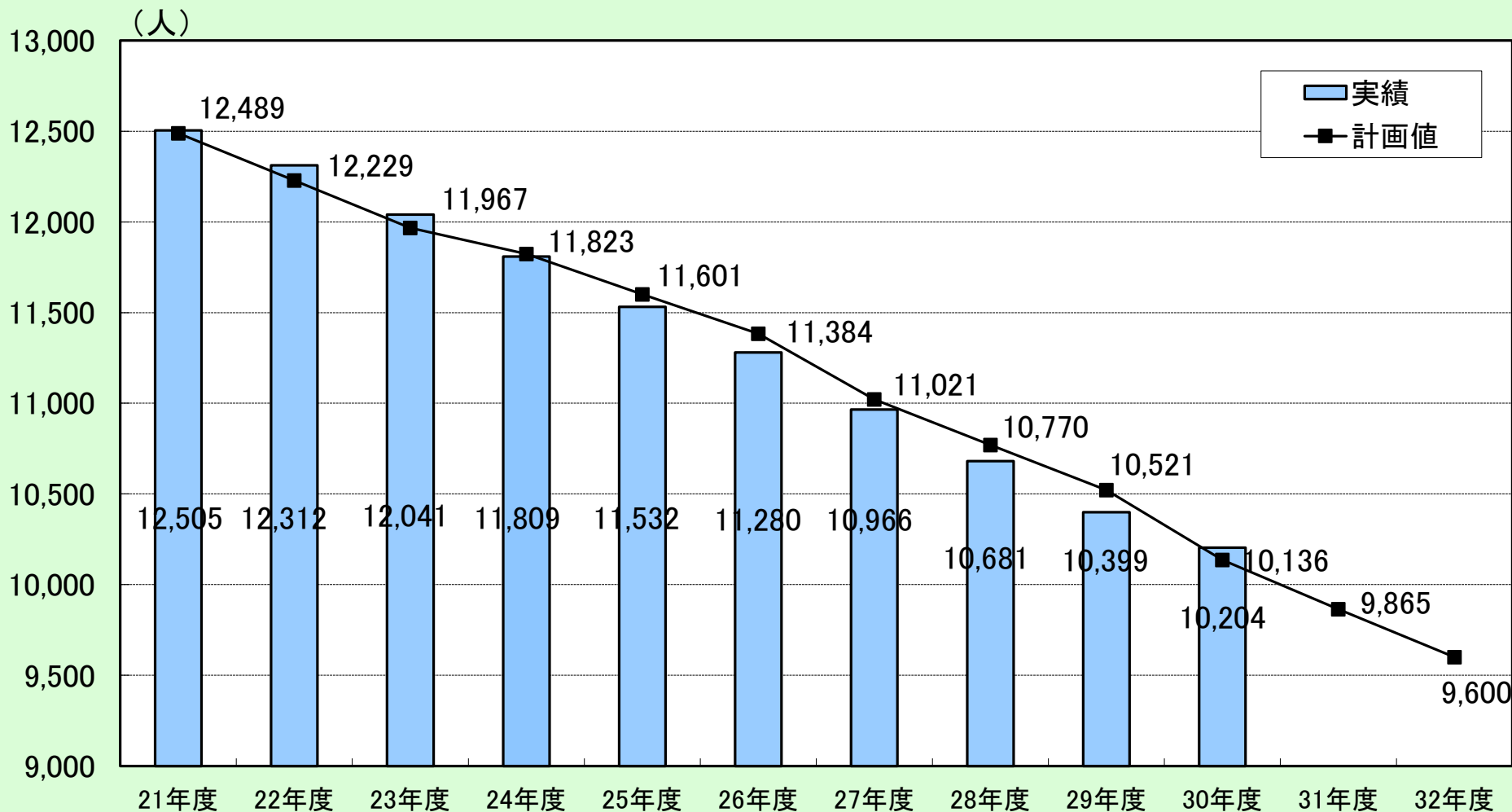


# 介護保険事業の 実施状況について

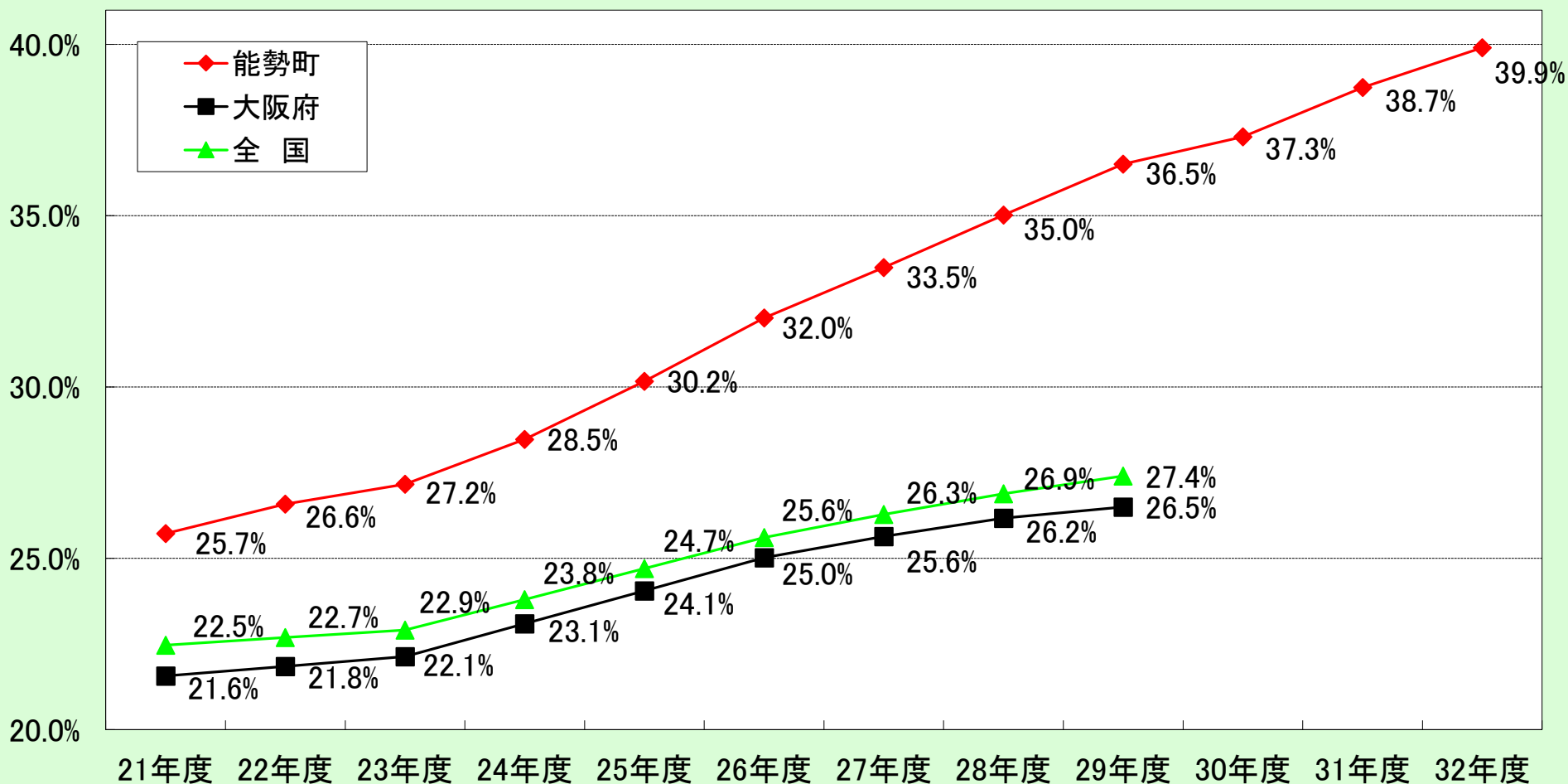
# 人口の推移



※ 実績は各年度とも10月1日時点

※ 平成30年は8月1日時点

# 高齢化率の推移



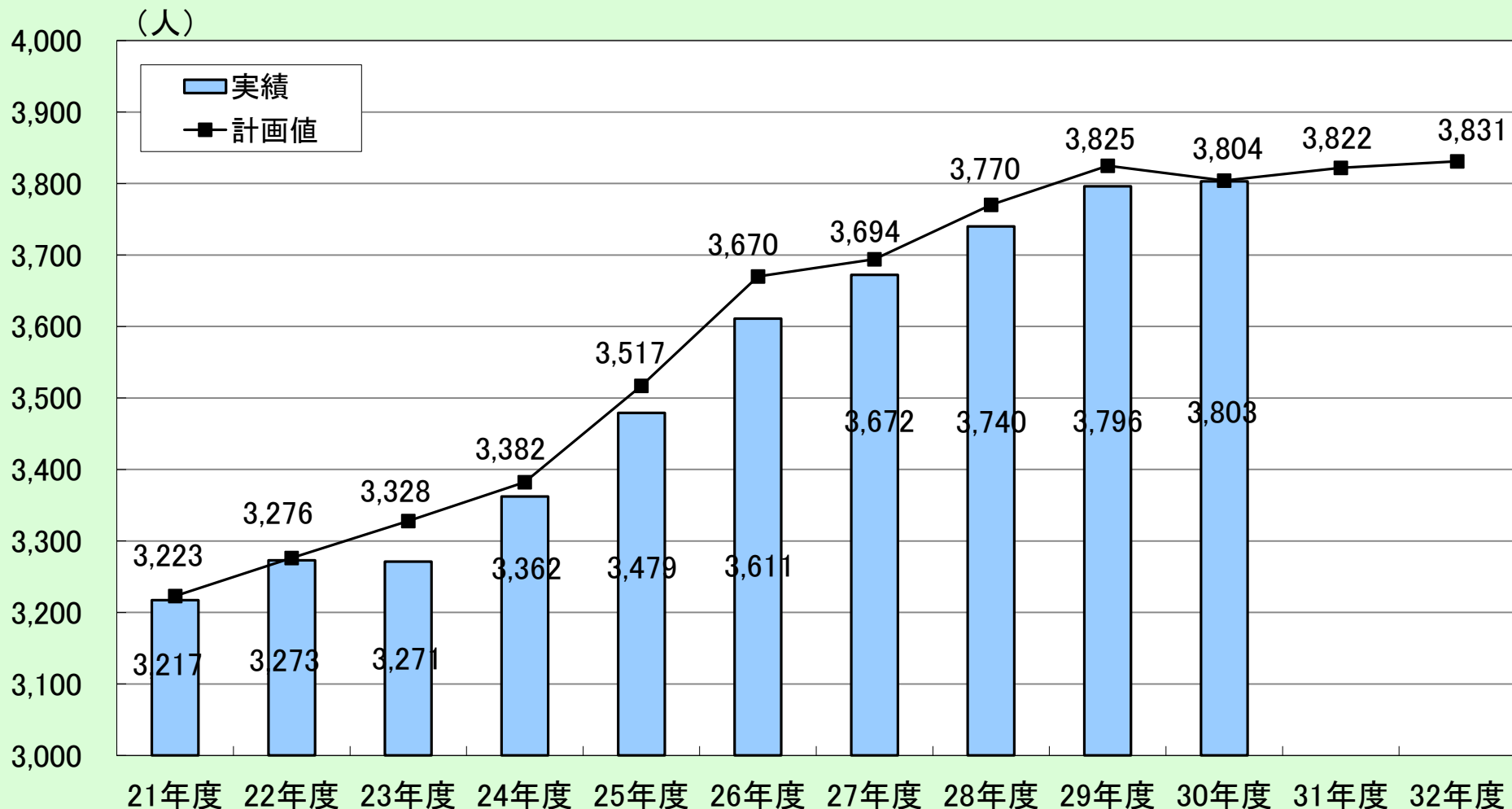
※ 高齢化率 = 第1号被保険者数 / 人口

※ 総務省統計局人口推計、厚生労働省介護保険事業状況報告を参考に作成

※ 各年度とも10月1日時点の数値

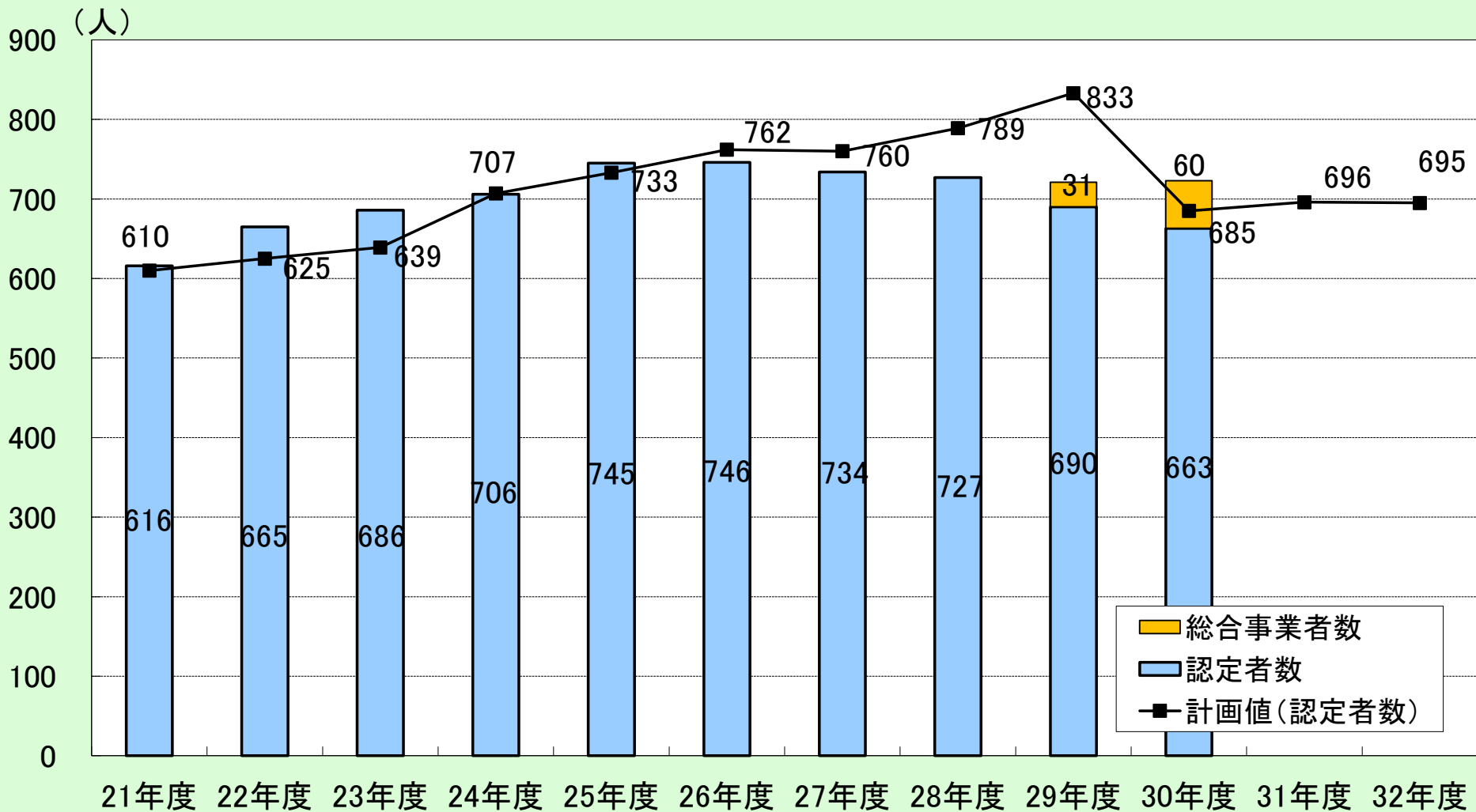
※ 能勢町の平成30年度は8月1日時点。以降は見込

# 第1号被保険者数の推移



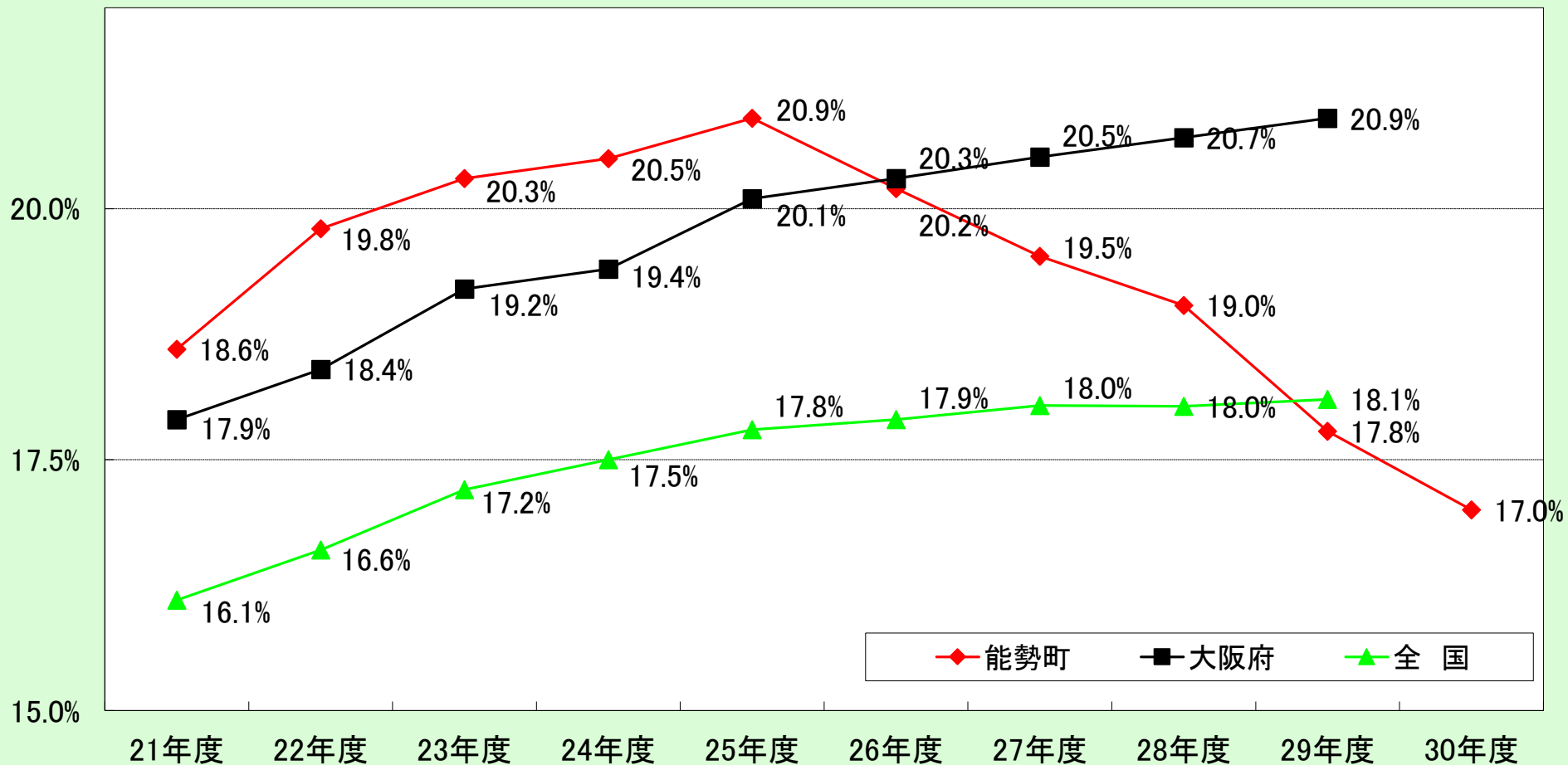
※ 実績は各年度とも10月1日時点  
※ 平成30年は8月1日時点

# 認定者数の推移



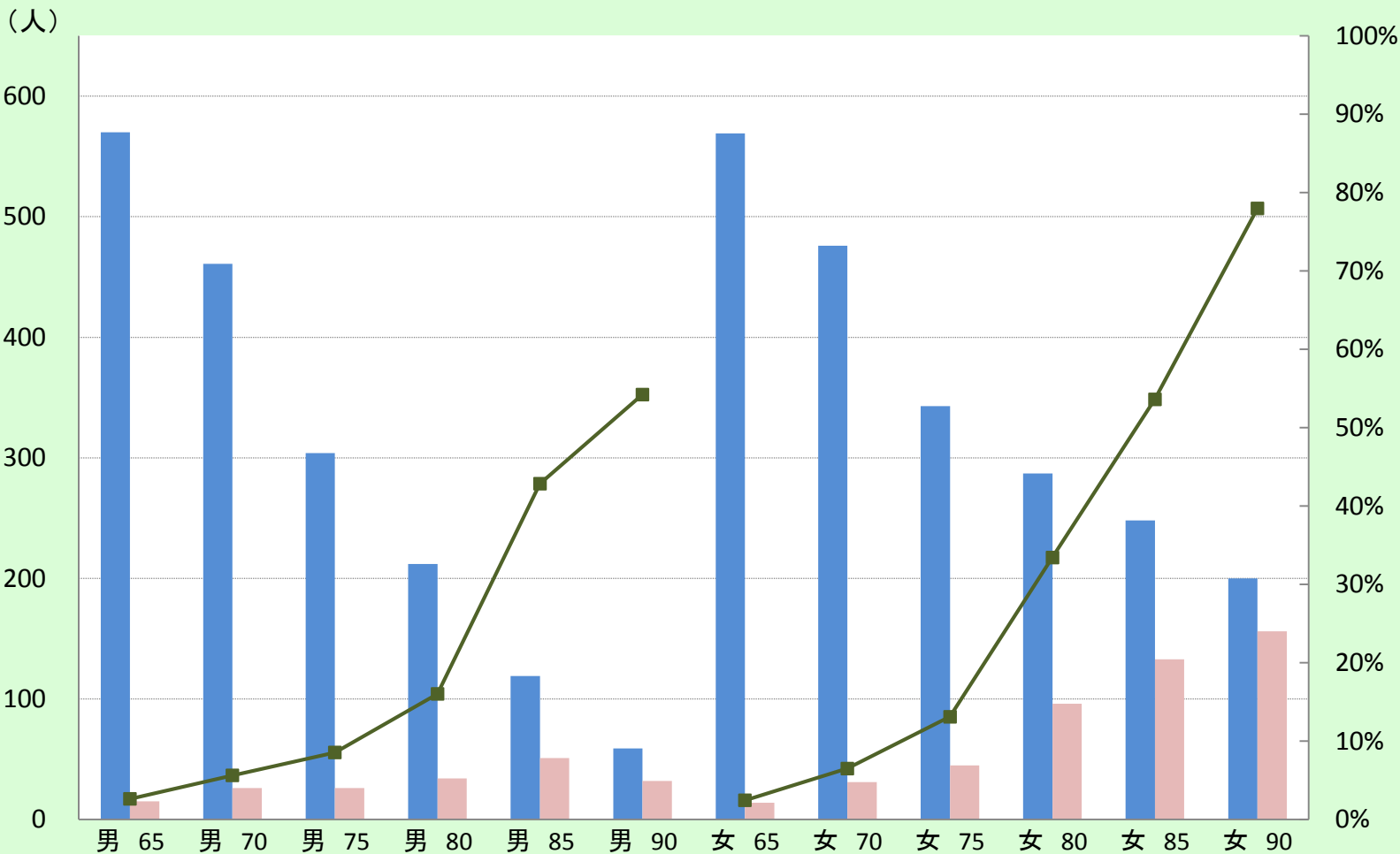
※ 認定者数は第1号・第2号認定者の計  
 ※ 実績は各年度とも10月1日時点  
 ※ 平成30年は8月1日時点

# 認定出現率の推移



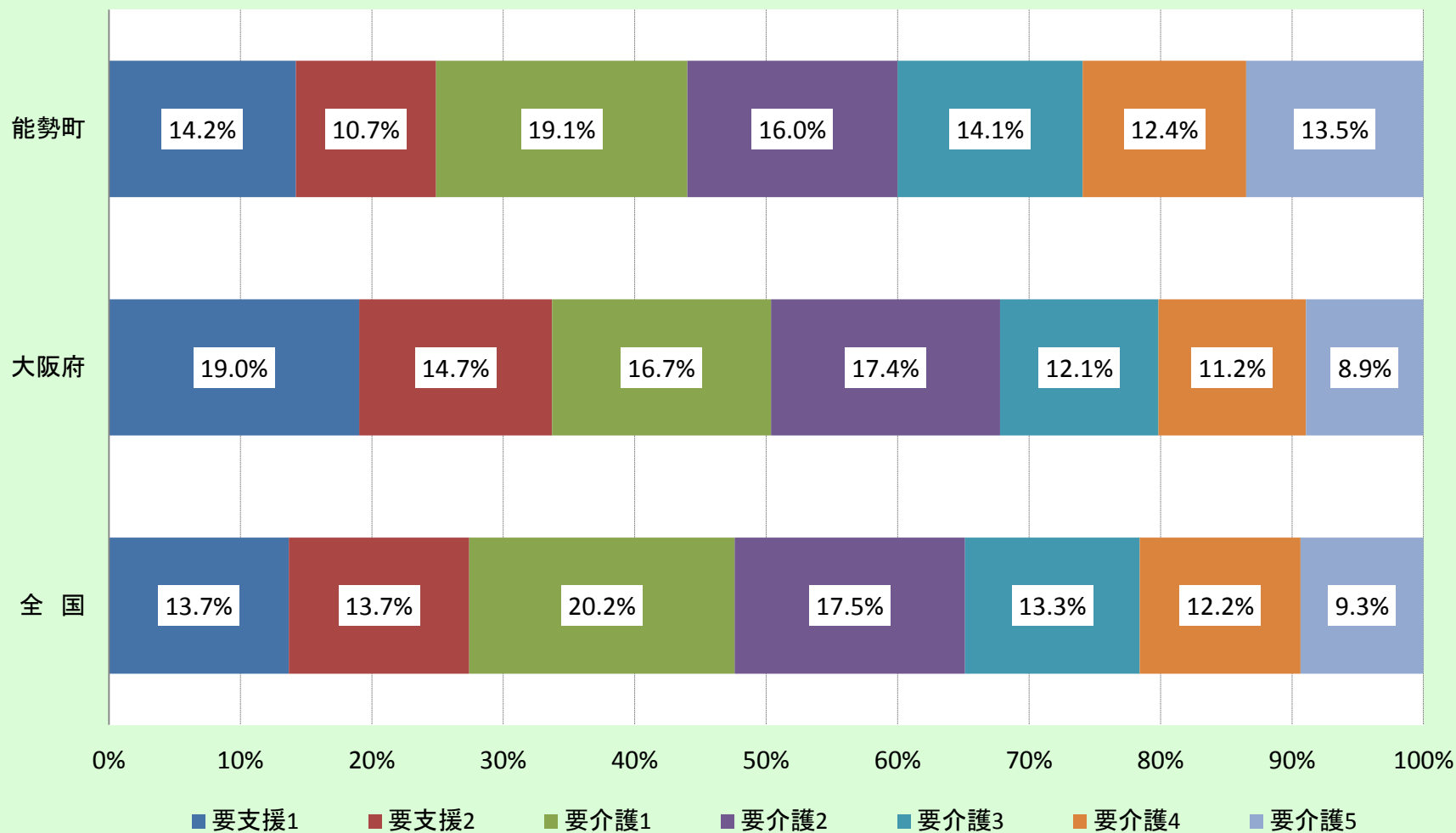
※ 認定出現率 = 第1号認定者数 / 第1号被保険者数  
 ※ 厚生労働省介護保険事業状況報告を参考に作成  
 ※ 各年度とも10月1日時点  
 ※ 能勢町の30年度は8月1日時点

# 人口・高齢者数・要介護(要支援)認定率 (男女別)(平成30年3月末)



	男 65 ~69	男 70 ~74	男 75 ~79	男 80 ~84	男 85 ~89	男 90 ~	女 65 ~69	女 70 ~74	女 75 ~79	女 80 ~84	女 85 ~89	女 90 ~
■ 高齢者数	570	461	304	212	119	59	569	476	343	287	248	200
■ 認定者数	15	26	26	34	51	32	14	31	45	96	133	156
■ 認定率	2.6%	5.6%	8.6%	16.0%	42.9%	54.2%	2.5%	6.5%	13.1%	33.4%	53.6%	78.0%

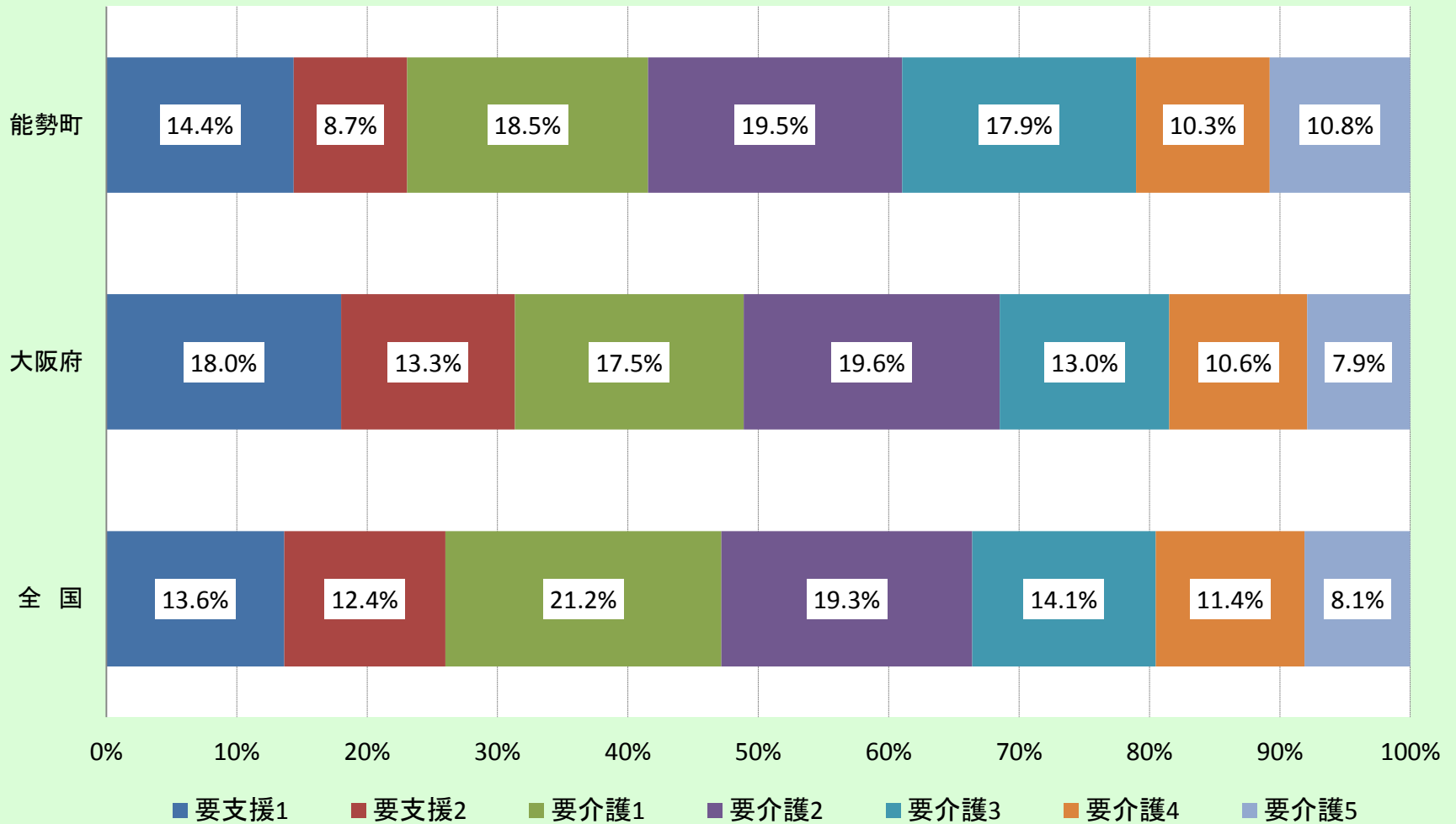
# 介護保険 要介護度別分布（全体）



※ 平成30年3月末時点。介護保険事業状況報告（暫定版）より作成。  
 ※ 第2号被保険者を含む。

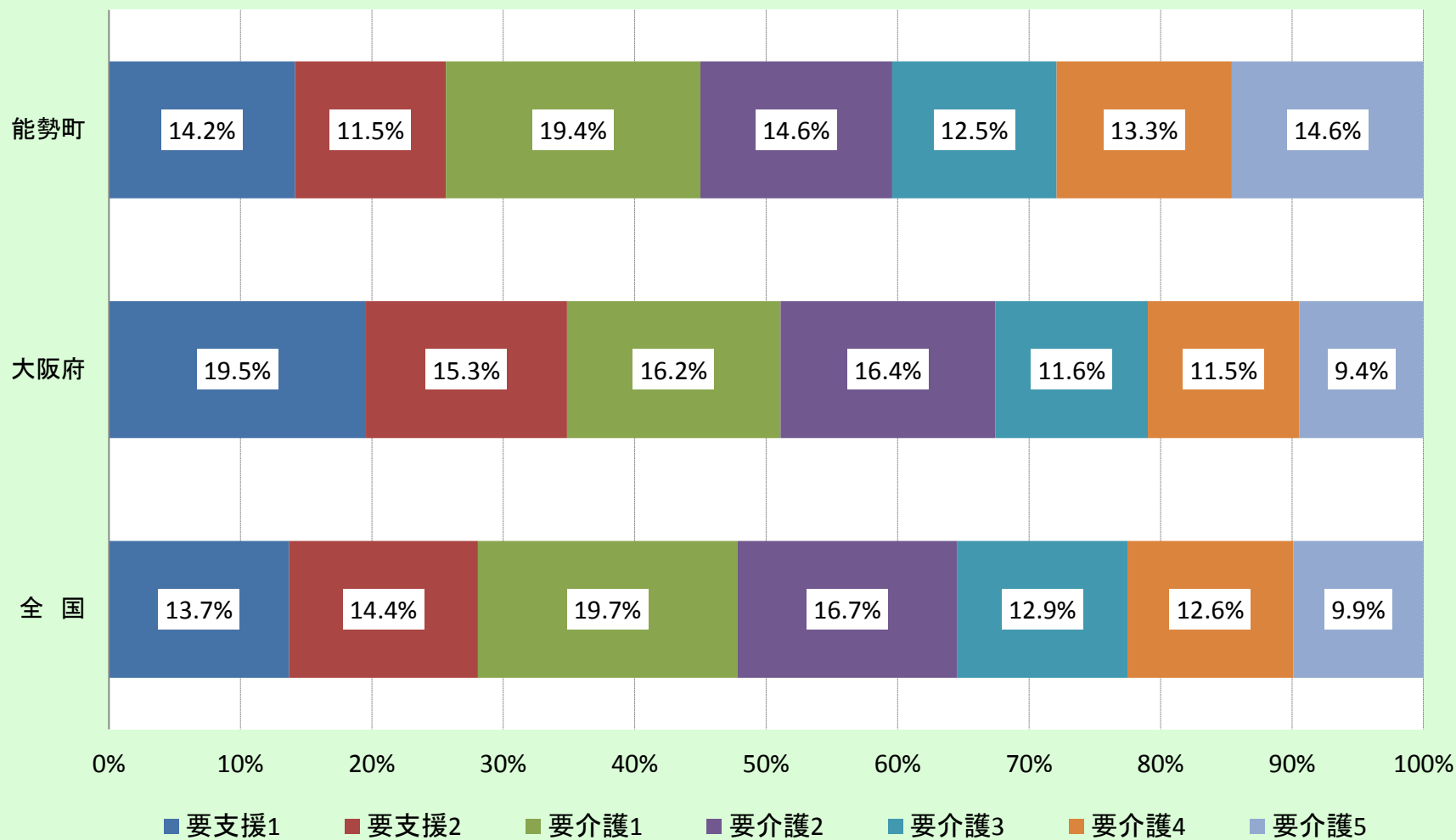


# 介護保険 要介護度別分布（男性）



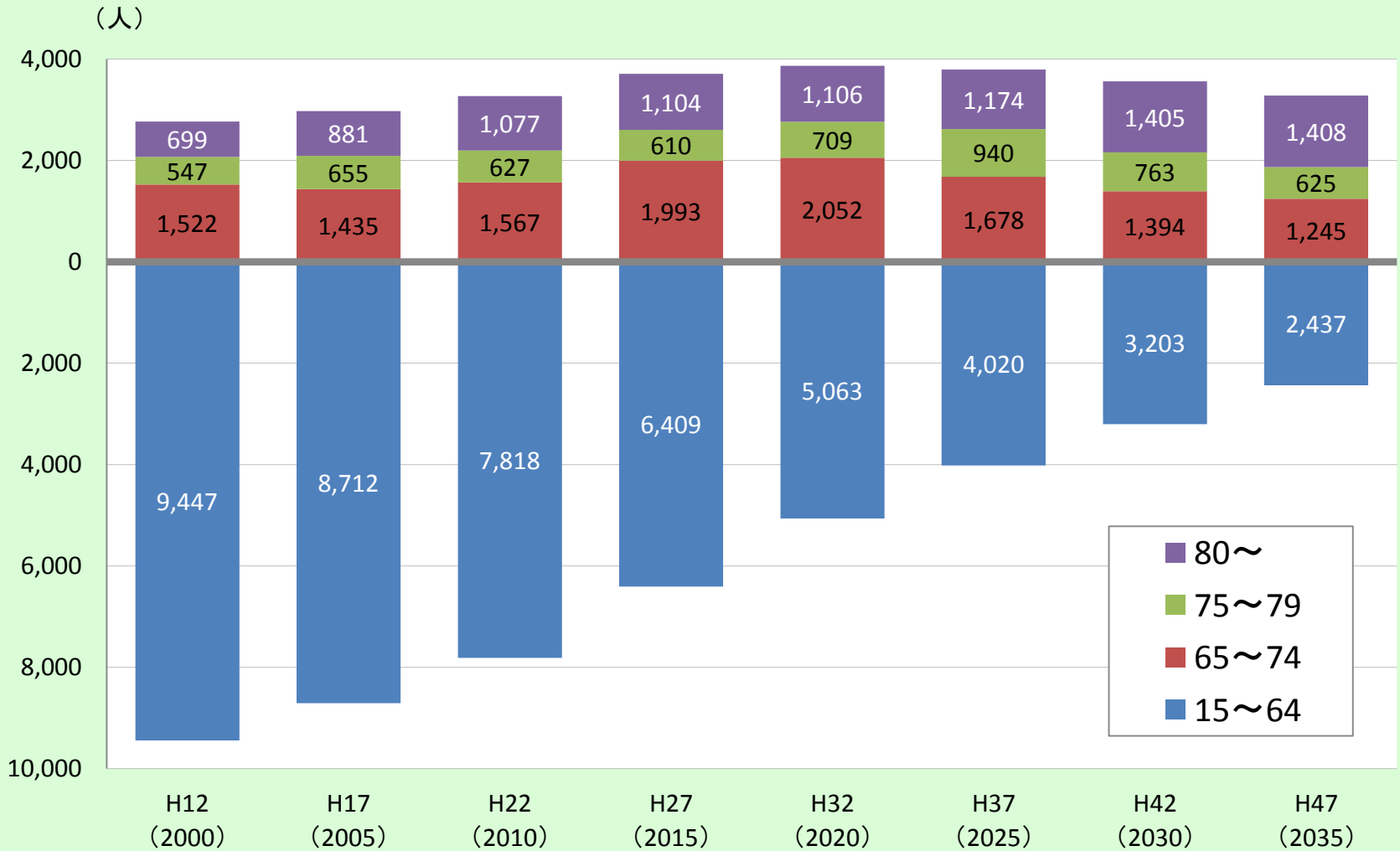
※ 平成30年3月末時点。介護保険事業状況報告(暫定版)より作成。  
 ※ 第2号被保険者を含む。

# 介護保険 要介護度別分布（女性）



※ 平成30年3月末時点。介護保険事業状況報告(暫定版)より作成。  
 ※ 第2号被保険者を含む。

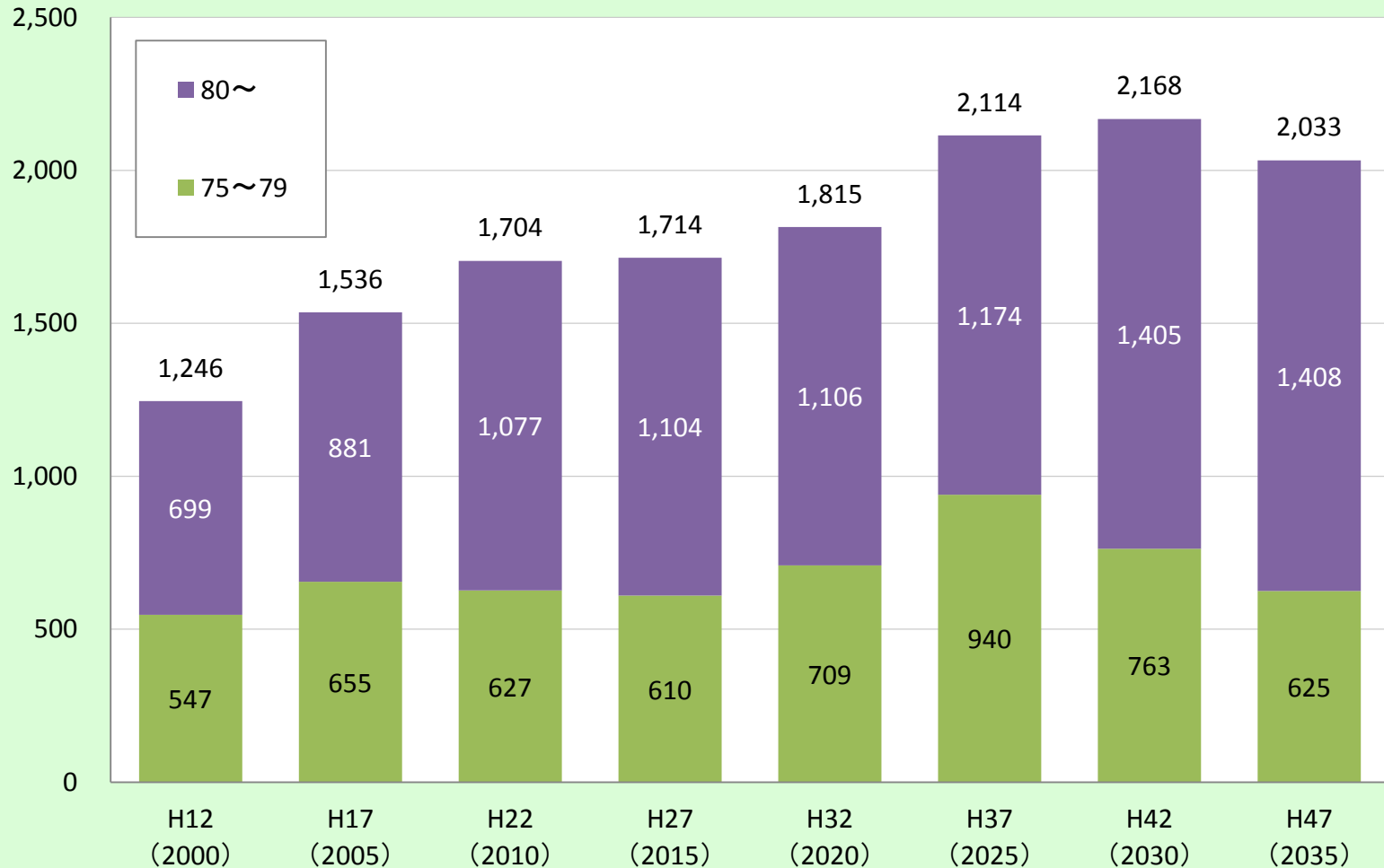
# 生産年齢人口と高齢者数



※ 各年度10月1日の住民基本台帳情報より作成。  
 ※ H32以降は、介護保険第7事業計画策定時の人口推計値。

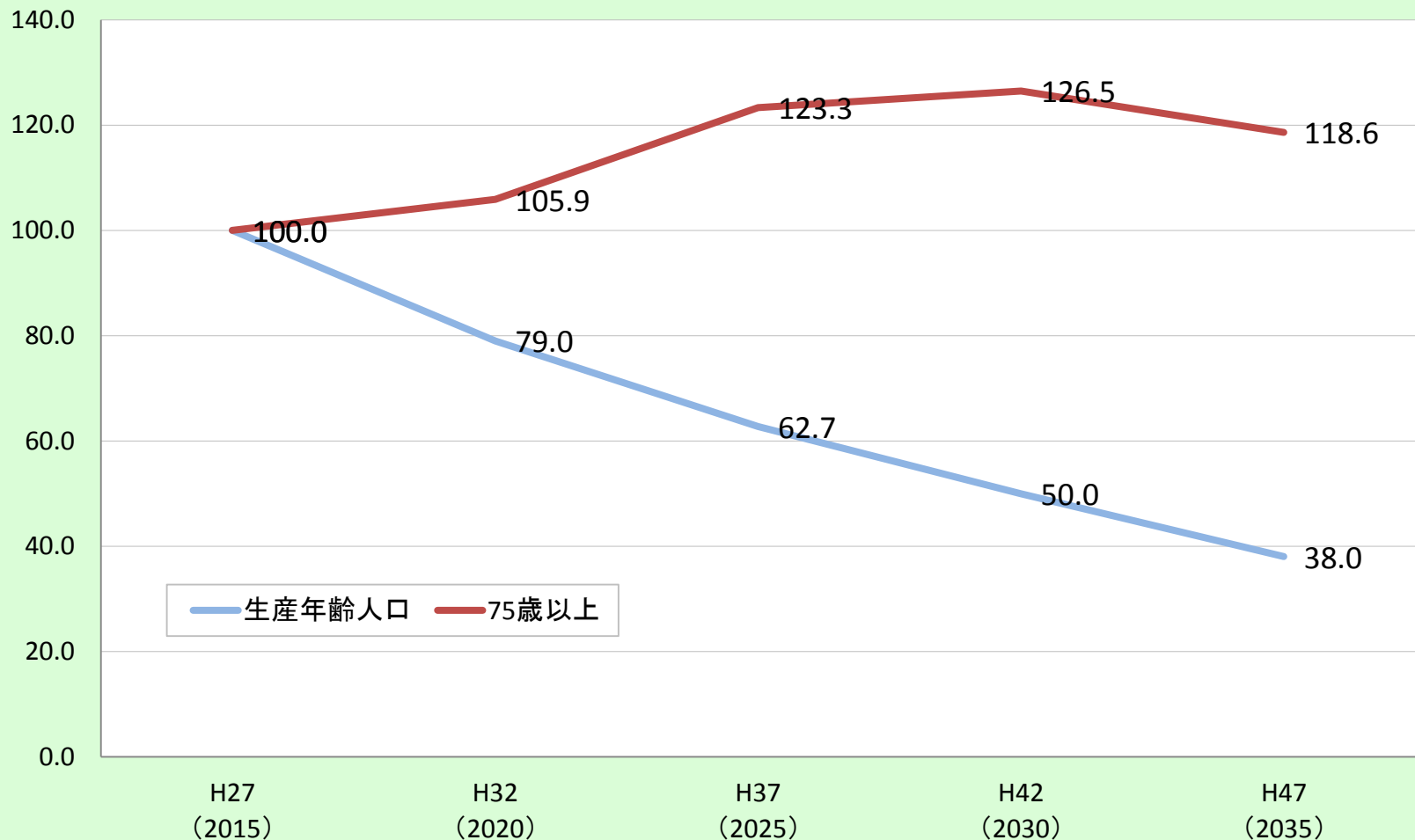
# 後期高齢者数の推計

(人)



※ 各年度10月1日の住民基本台帳情報より作成。  
※ H32以降は、介護保険第7期事業計画策定時の人口推計値。

# 生産年齢人口と高齢者数(指数)



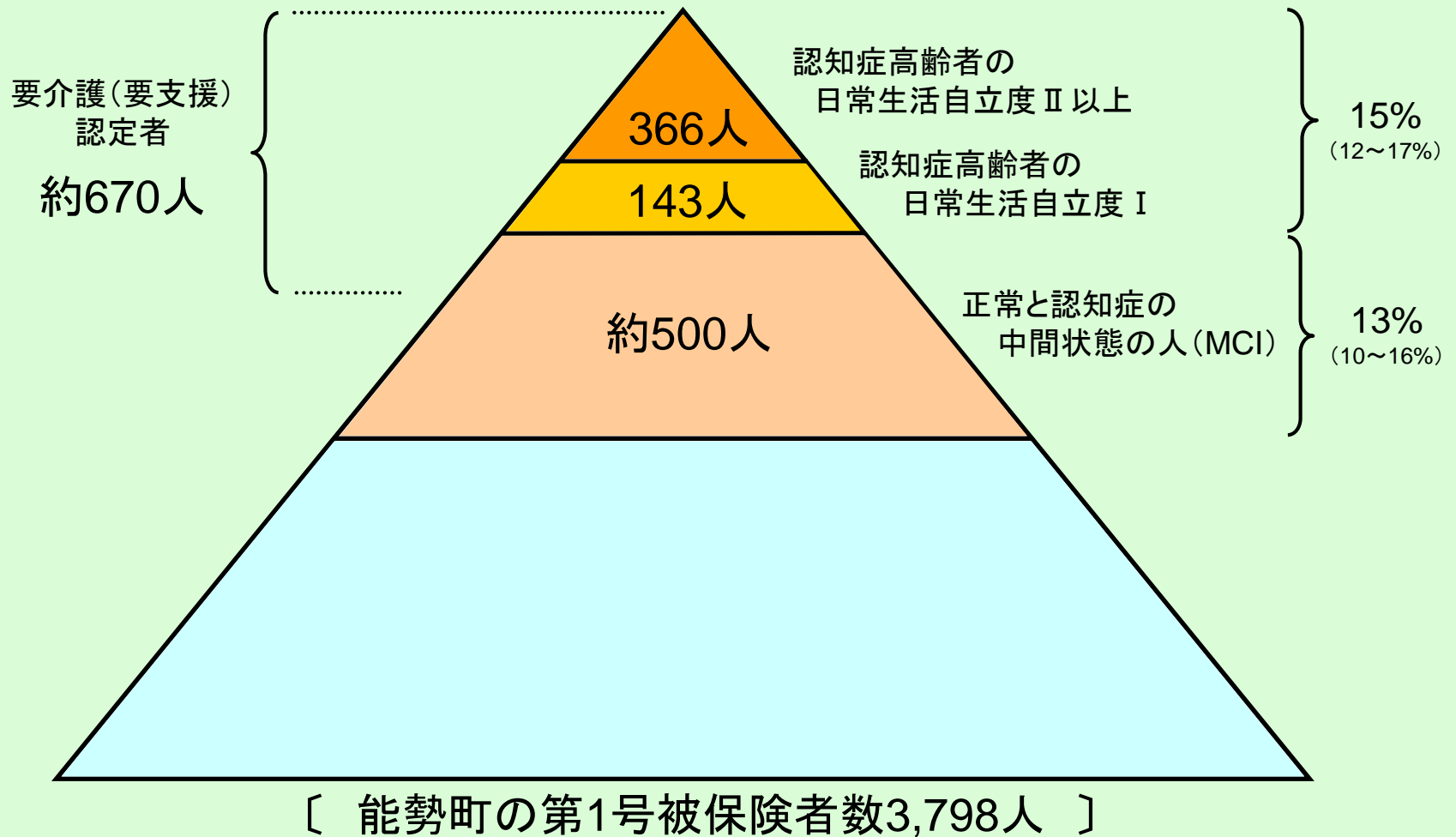
※ H27を100としたときのH47までの推計値。  
※ 各年度10月1日の住民基本台帳情報より作成。  
※ H32以降は、介護保険第7期事業計画策定時の人口推計値。

# 認知症高齢者の日常生活自立度 判断基準

ランク	判断基準	症状・行動の例	人数
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。		143
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意志疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。		
II a	家庭外で上記 II の状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等	54
II b	家庭内でも上記 II の状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等	123
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意志疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。		
III a	日中を中心として上記 III の状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかる、やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行動等	111
III b	夜間を中心として上記 III の状態が見られる。	ランク III a に同じ	26
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意志疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランク III に同じ	43
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等	9

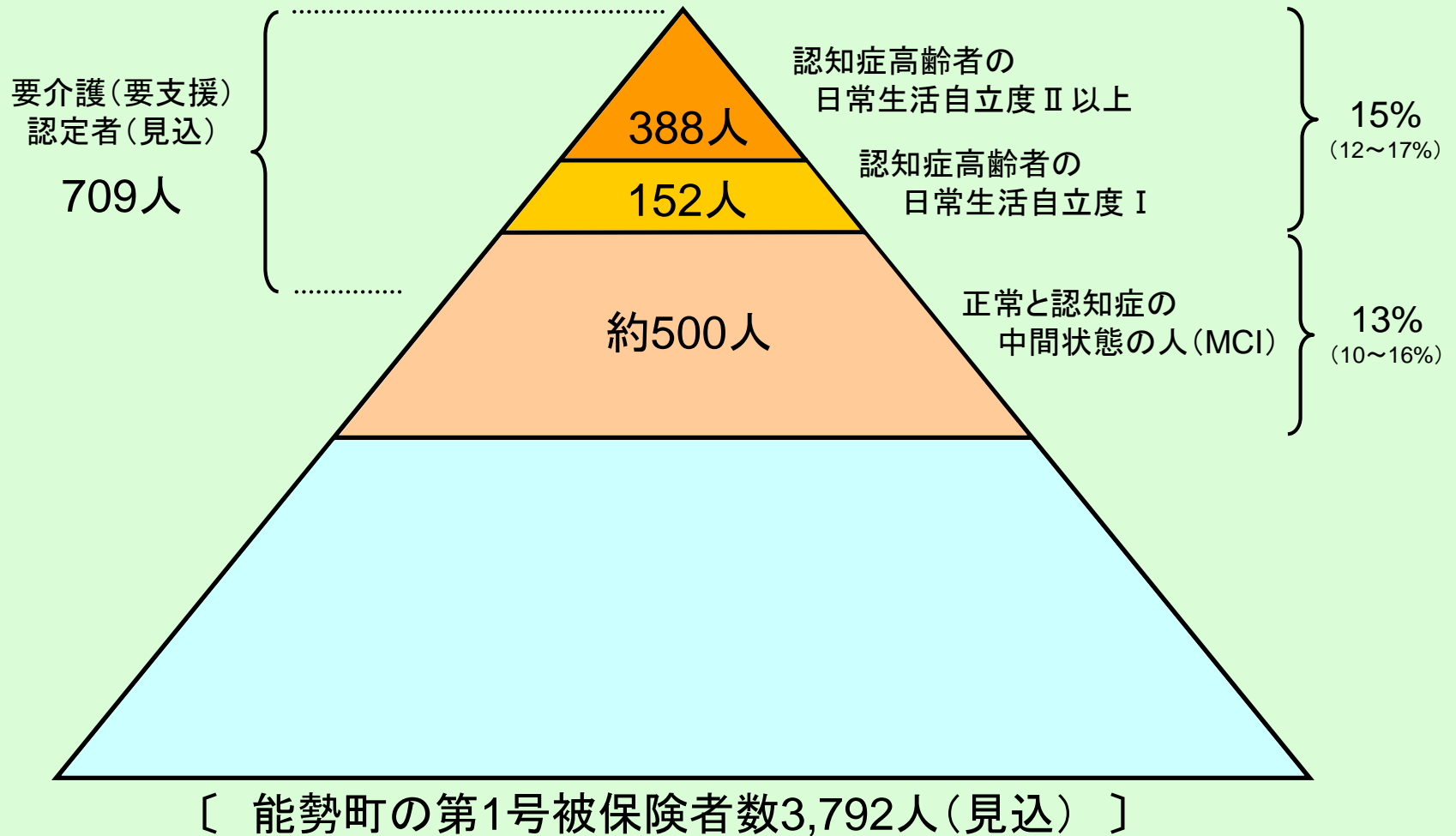
※ 人数は平成30年5月31日時点の数値。認定調査票の記載内容によるもの

# 認知症高齢者数の推計(平成30年5月)



- ※ 平成25年6月6日 社会保障審議会介護保険部会資料「認知症有病率等調査(厚生労働科学研究(筑波大学))」を参考に作成
- ※ 第1号被保険者数、認定者数は平成30年5月31日時点の実績
- ※ 認知症高齢者の日常生活自立度は認定調査票の記載内容を集計した実績
- ※ 正常でもない、認知症でもない(MCI)の人数は、筑波大学有病率調査を基にした推計値

# 認知症高齢者数の推計(2025(平成37)年)



- ※ 平成25年6月6日 社会保障審議会介護保険部会資料「認知症有病率等調査(厚生労働科学研究(筑波大学))」を参考に作成
- ※ 第1号被保険者数、認定者数は平成30年5月31日時点の実績
- ※ 認知症高齢者の日常生活自立度は認定調査票の記載内容を集計した実績
- ※ 正常でもない、認知症でもない(MCI)の人数は、筑波大学有病率調査を基にした推計値



# 一人暮らし高齢者数の見込

平成27年国勢調査では、全国の65歳以上人口のうち、一人暮らし高齢者数は592万8千人で、65歳以上のおよそ6人に1人が一人暮らしとなっている。

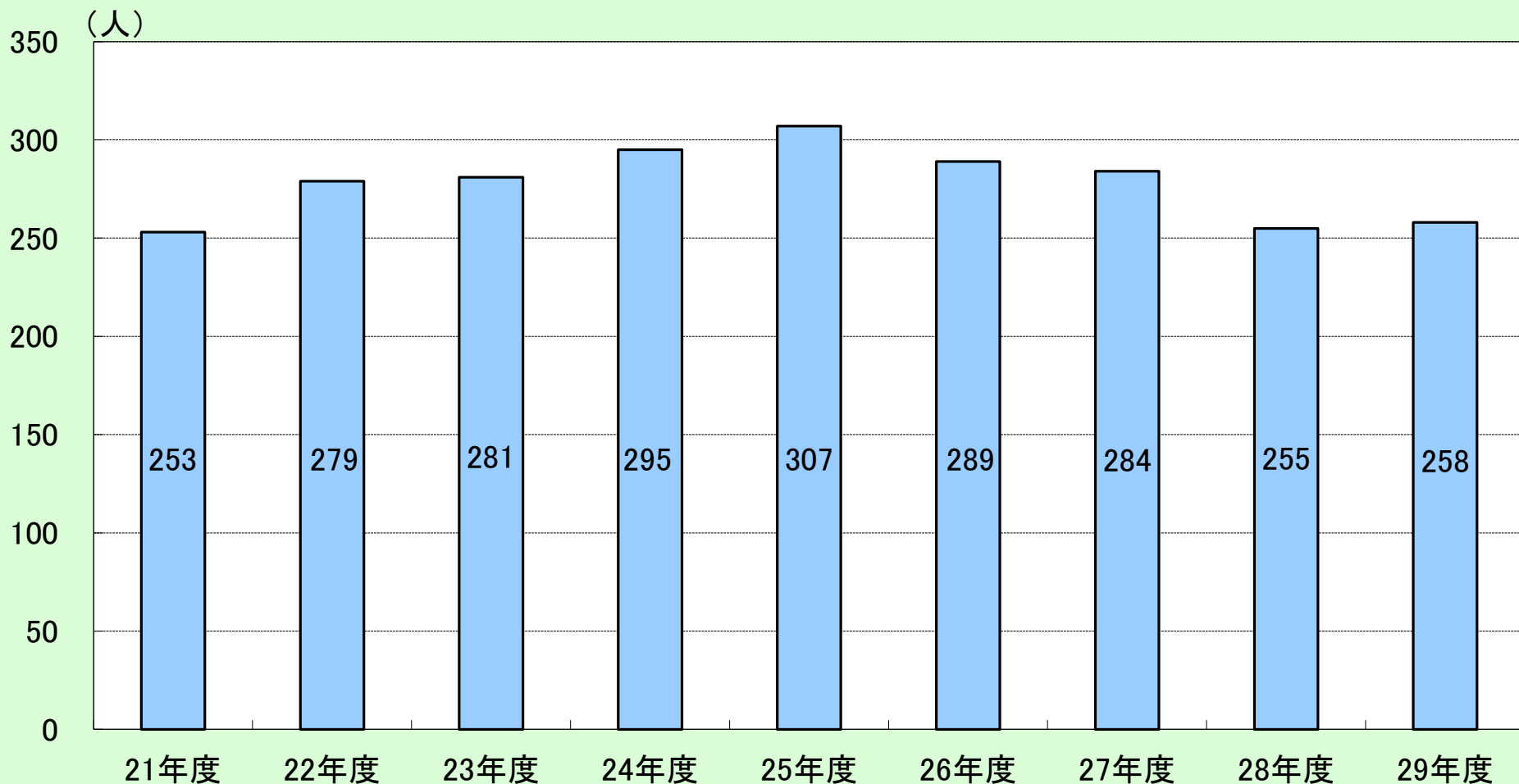
	65歳以上人口	うち、一人暮らし 高齢者数	割合
全 国	33,465千人	5,928千人	17.7%

## 【 能勢町の一人暮らし高齢者数の推計 】

	65歳以上人口	うち、一人暮らし 高齢者数(推計)
2018年 (平成30年)	3,834人	679人
2025年	3,792人	671人

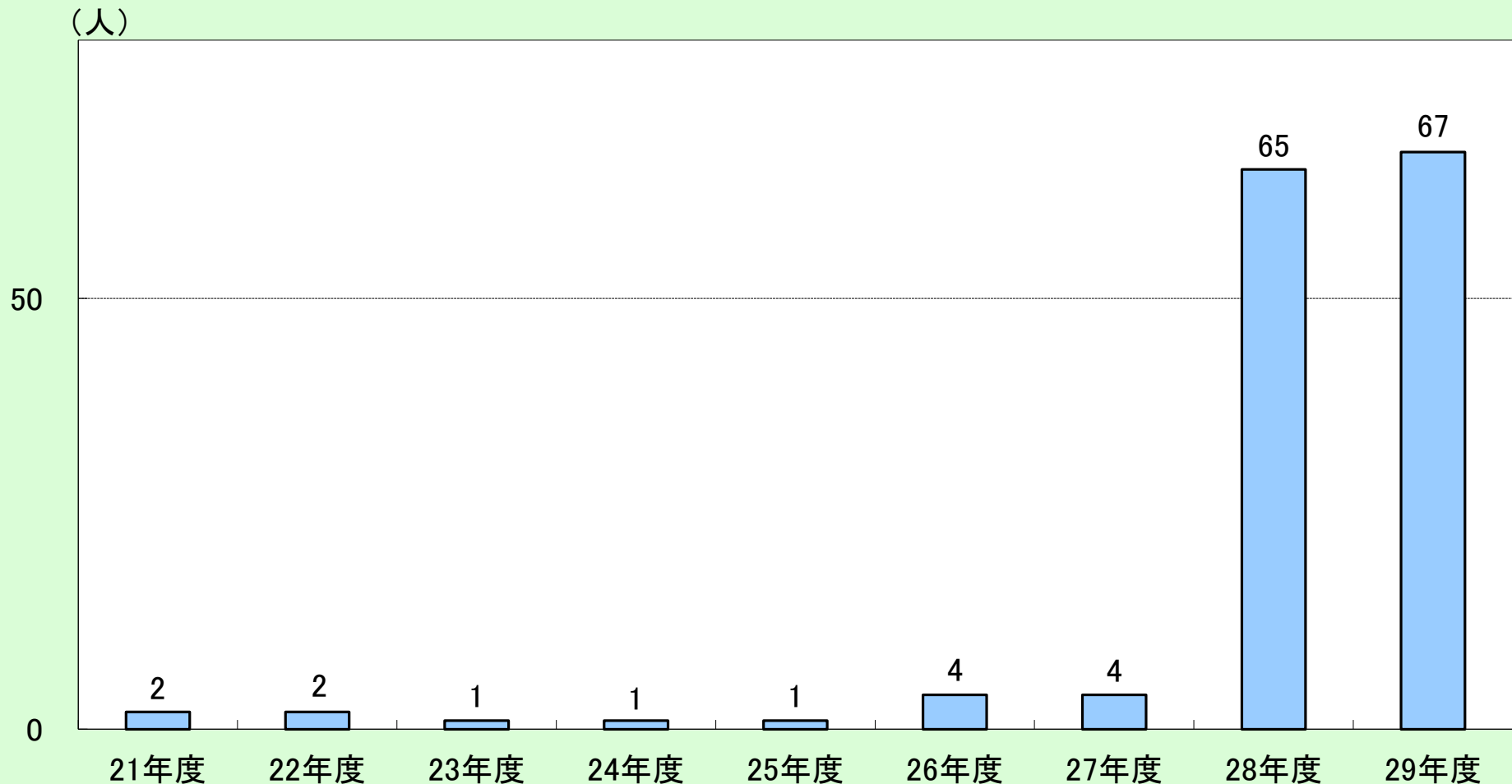
※ 2018年(平成30年)は7月末の住民基本台帳人口

# 居宅介護サービス受給者数の推移



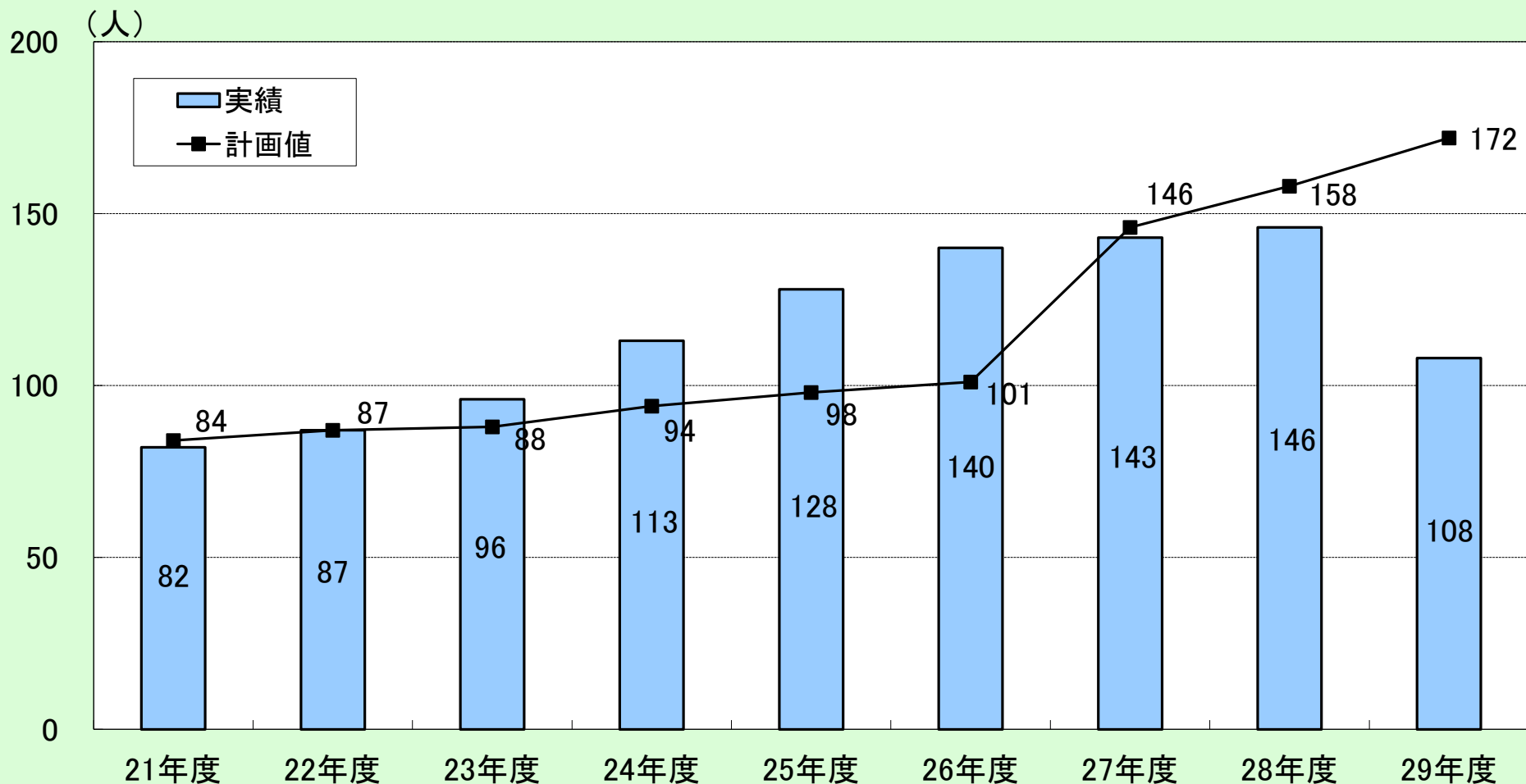
※ 要介護1～5の認定者のうち、居宅介護サービス受給者数の計(2号含む)  
※ 介護保険事業状況報告年報、月報を基に作成  
※ 実績は各年度とも年間実績を12ヵ月で除した数値

# 地域密着型サービス受給者数の推移



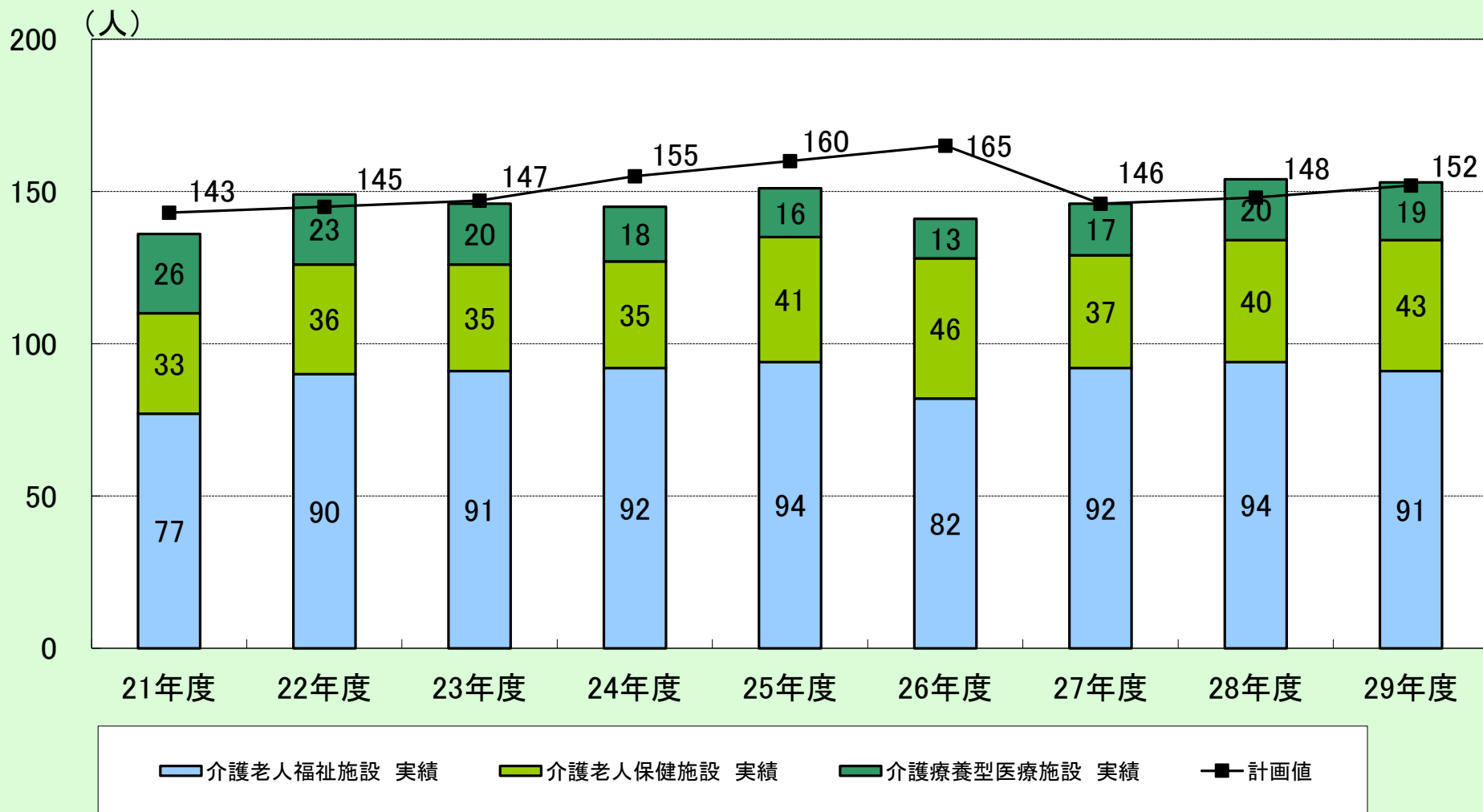
※ 要支援1～要介護5の認定者のうち、地域密着型サービス受給者数の計(2号含む)  
※ 介護保険事業状況報告年報、月報を基に作成  
※ 実績は各年度とも年間実績を12カ月で除した数値

# 介護予防サービス受給者数の推移



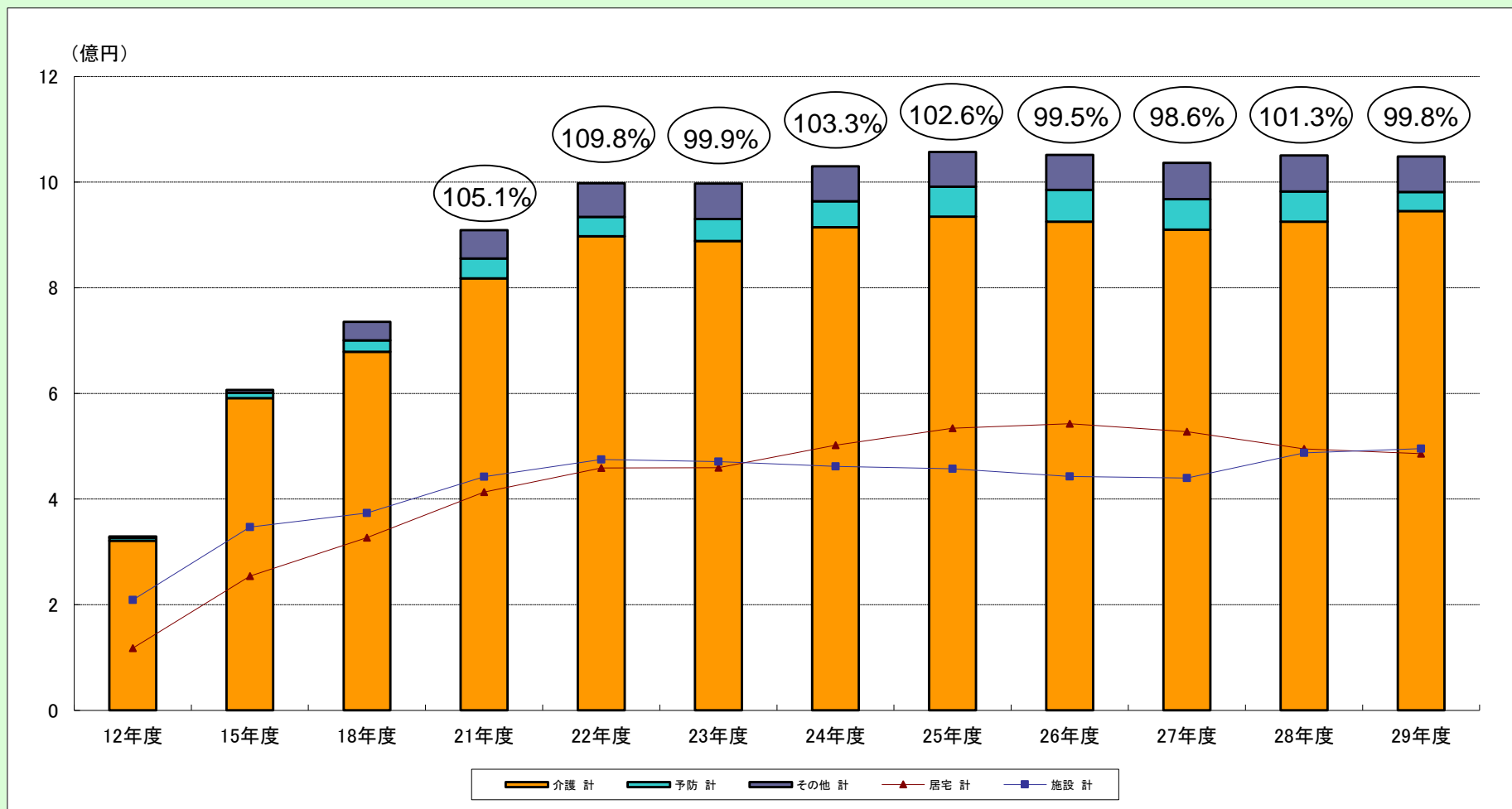
※ 要支援1・2の認定者のうち、介護予防サービス受給者数の計(2号含む)  
※ 介護保険事業状況報告年報、月報を基に作成  
※ 実績は各年度とも年間実績を12ヵ月で除した数値

# 施設介護サービス受給者数の推移



※ 介護保険事業状況報告年報、月報を基に作成  
 ※ 実績は各年度とも年間実績を12ヵ月で除した数値

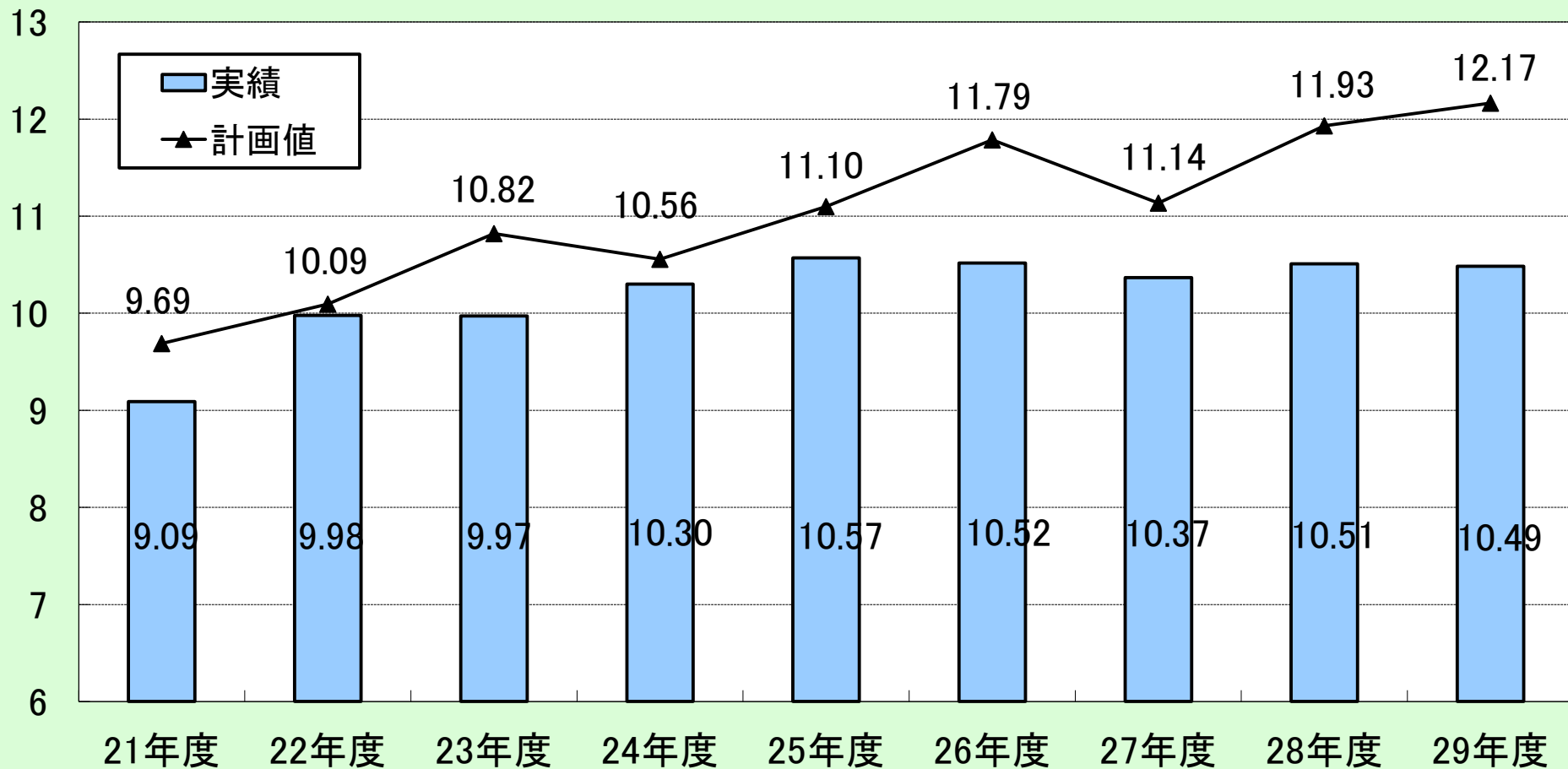
# 介護給付費の推移



※ 折線グラフの「居宅計」は居宅介護+介護予防+地域密着の計

# 介護給付費 計画との比較(全体)

(億円)



## 第6期計画期間 介護給付費準備基金の状況

単位：円

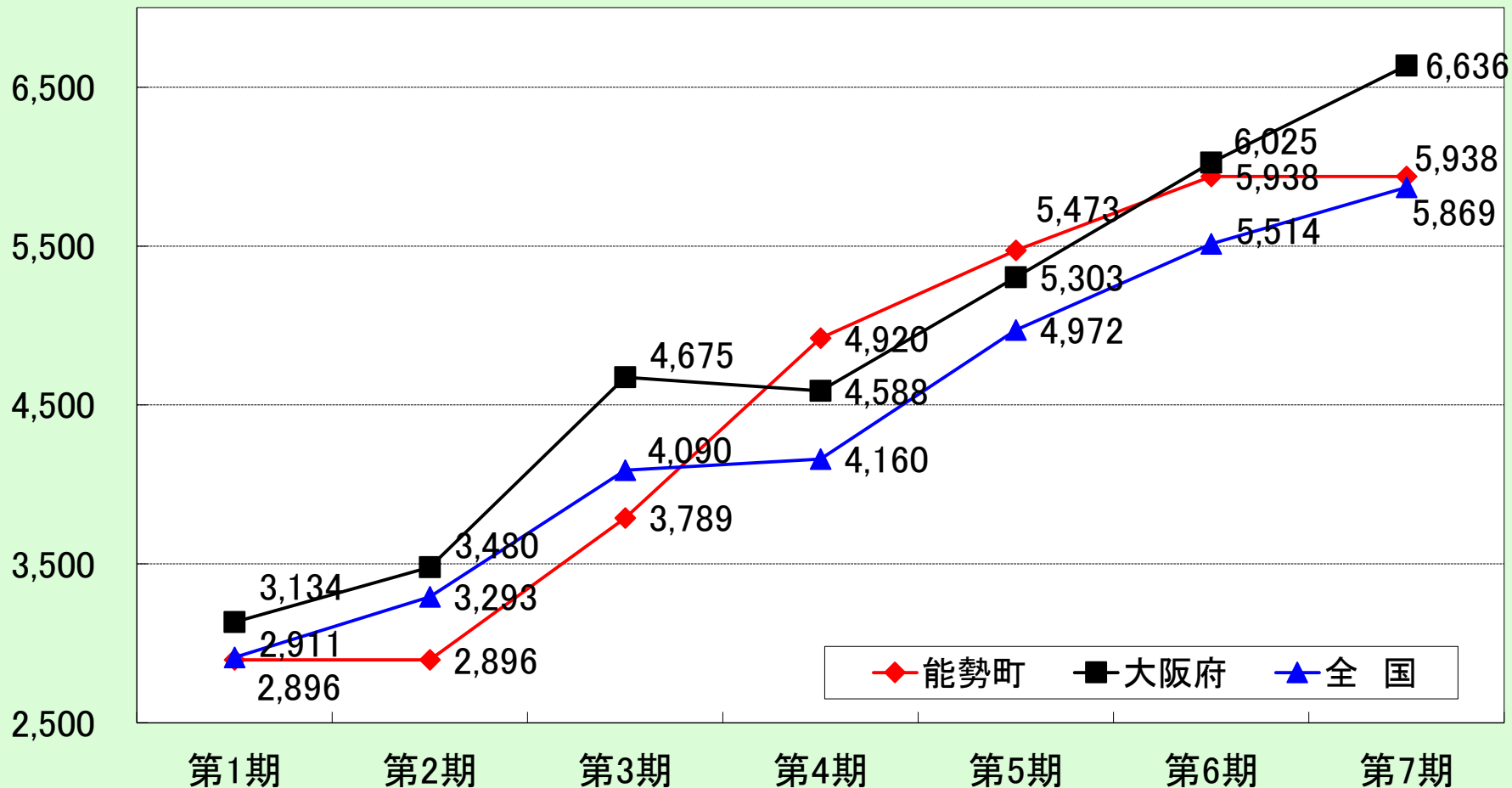
	第5期計画 終了時	平成27年度	平成28年度	平成29年度	準備基金 残高
準備基金 積立額	45,762,565	18,856,278	20,072,457	17,889,903	94,383,706
準備基金 取崩額	—	—	—	—	

※ 準備基金残高は平成30年7月末時点



# 介護保険料基準額(月額)の推移

(円)



府内保険者の保険料基準額(高額順)

第5期：3/41

第6期：13/41

第7期：26/41

# 介護保険料 収納状況

単位：円

		特別徴収	普通徴収	合 計
平成 27年度	調 定	228,461,396	27,348,341	255,809,737
	収 納	228,614,652	24,125,813	252,740,465
	収納率	100.1%	88.2%	98.8%
平成 28年度	調 定	234,621,591	28,543,670	263,165,261
	収 納	234,741,408	25,844,553	260,585,961
	収納率	100.1%	90.5%	99.0%
平成 29年度 (見込)	調 定	240,142,653	26,569,351	266,712,004
	収 納	240,272,106	23,886,541	264,158,647
	収納率	100.1%	89.9%	99.0%

※ 調定・収納ともに現年度分のみ

※ 決算では還付未済額を歳入として処理するため、収納率が100%を超える場合がある

# 介護保険料 納付方法

	特別徴収	普通徴収
対象者	年金が年額18万円以上	年金が年額18万円未満
納付方法	年金受給時に 年金から差し引き	納付書または口座振替
人数	3,547人	238人

- ※ 対象となる年金は老齢(退職)年金・障害年金・遺族年金。老齢福祉年金・寡婦年金は特徴対象外
- ※ 年度中の資格取得者・転入者などは一時的に普徴となり、条件・準備が整い次第特徴へ移行
- ※ 人数・件数は平成30年度本算定時の数値
- ※ 特別徴収、普通徴収の併徴者は特別徴収に含める

# 地域密着型サービス事業所について

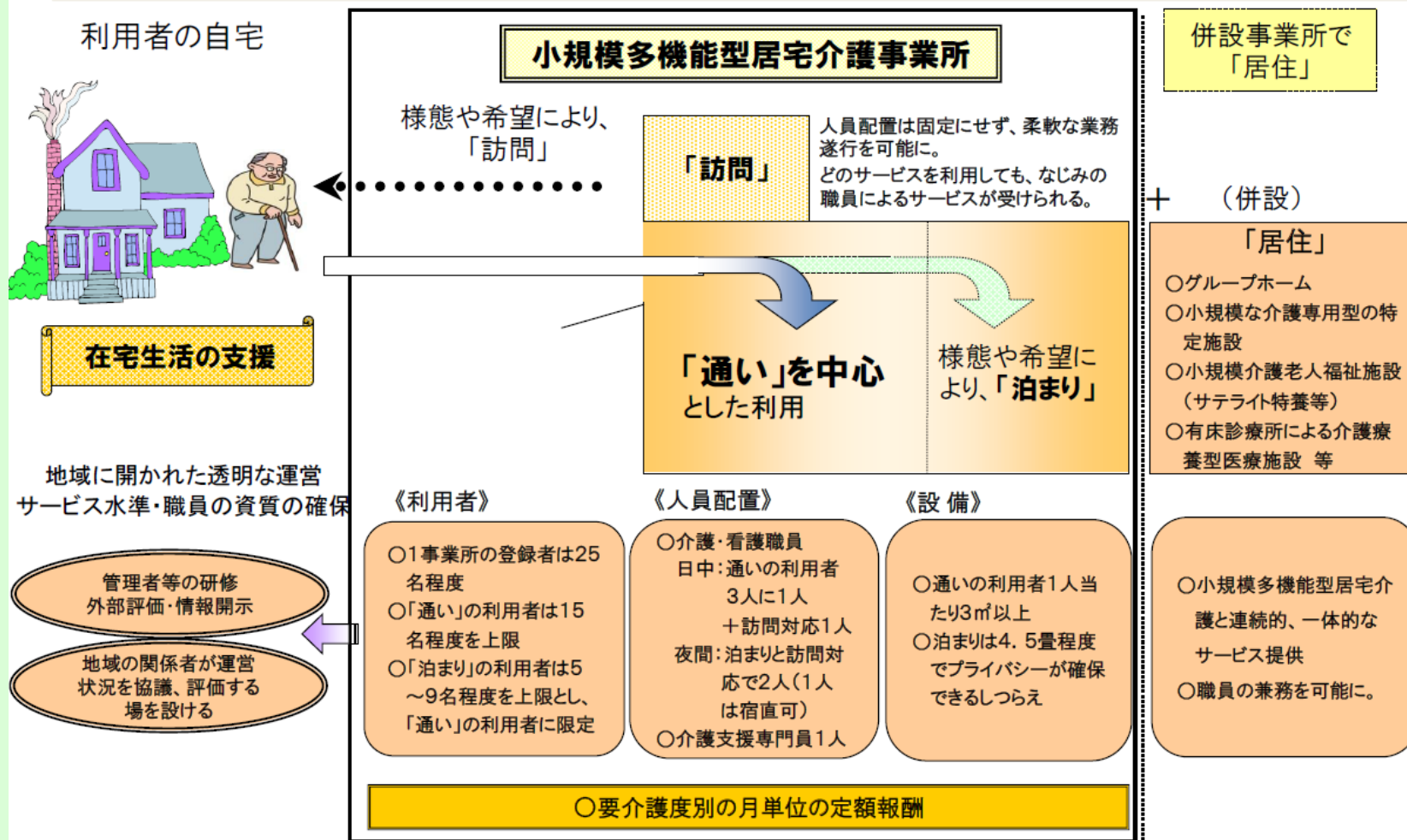
定義	可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう、身近な市町村で提供されるサービス 市町村が事業所の指定・指導を行う
利用者	原則として能勢町の被保険者のみが利用可能
サービス種類	地域密着型通所介護（通常の通所介護のうち小規模なもの）

## 【能勢町の地域密着型サービス事業所】

事業所名	あい愛ケアデイサービス	能勢町立東部デイサービスセンター
サービス種別	地域密着型通所介護	地域密着型通所介護
所在地	能勢町下田124-1	能勢町地黄1211
定員	18名	15名
営業日、時間	月～土・祝 8時30分～17時30分	月～金 8時30分～17時30分
サービス提供時間	9時15分～16時45分	9時30分～16時30分
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 入浴サービス</li> <li>2 食事サービス</li> <li>3 生活指導(相談・援助等) レクリエーション</li> <li>4 個別機能訓練・運動器機能向上</li> <li>5 健康チェック・口腔チェック(口腔機能向上)</li> <li>6 送迎</li> <li>7 アクティビティなど</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活指導(相談・援助等) レクリエーション</li> <li>2 日常動作訓練</li> <li>3 入浴介護</li> <li>4 機能訓練指導</li> <li>5 給食サービス</li> <li>6 健康チェック</li> <li>7 送迎</li> </ol>

# 第7期計画における施設整備について

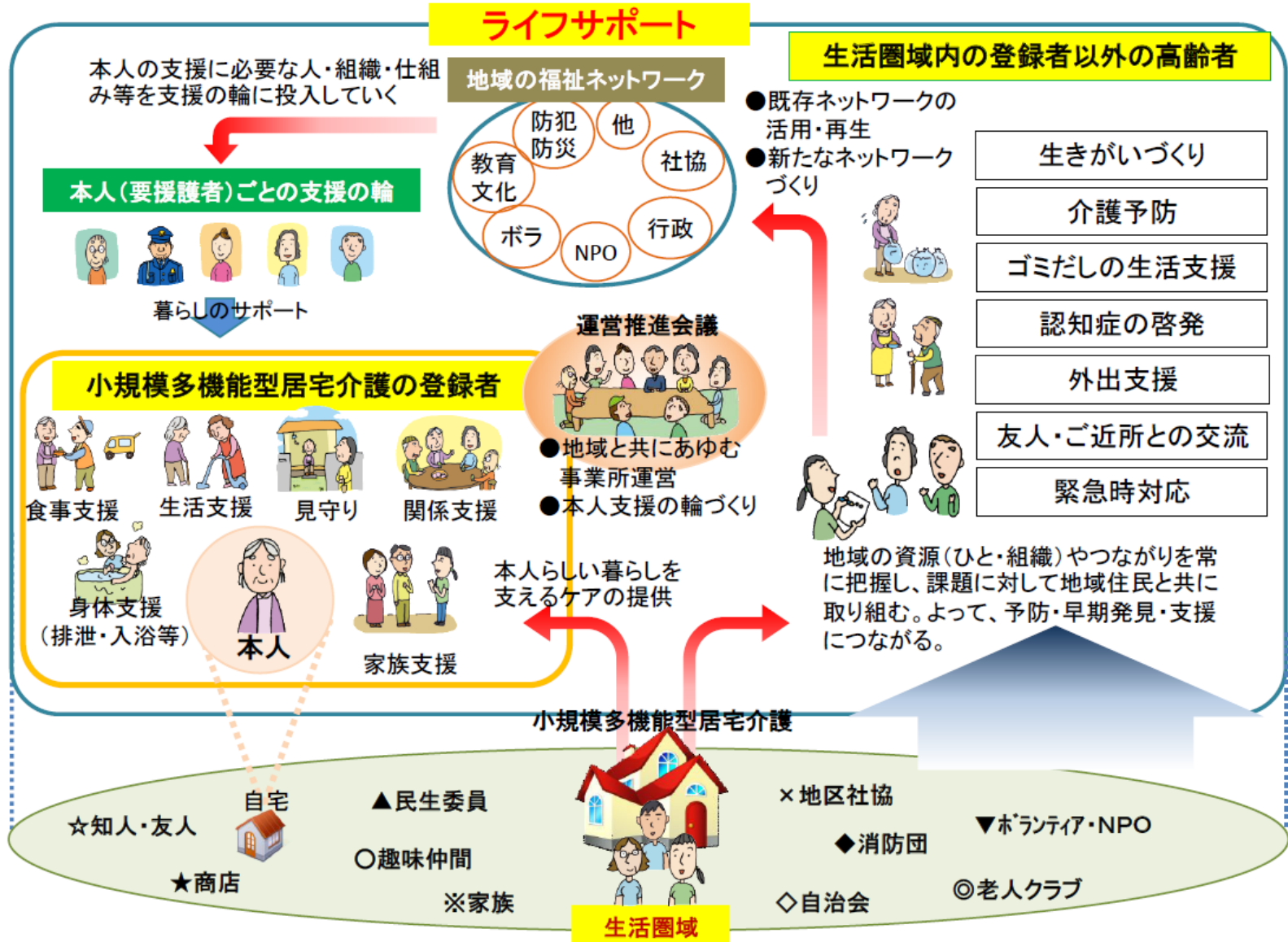
基本的な考え方:「**通い**」を中心として、要介護者の様態や希望に応じて、**随時「訪問」**や**「泊まり」**を組み合わせることで、中重度となっても在宅での生活が継続できるよう支援する。



出典:厚生労働省老健局計画課(2006年7月)

# 生活圏域でのこれからの小規模多機能の姿

地域包括ケアの推進の中で、生活圏域の多様な生活ニーズに応え、在宅生活を支える拠点として、小規模多機能型居宅介護は発展



## 町内介護保険施設入所者の状況

施設名：特別養護老人ホーム 青山荘

単位：人

定員数	男女内訳		町内・町外内訳	
	男性	女性	町内	町外
50	7	38	30	15

(平成30年8月28日現在)

# 保険者機能強化推進交付金について

- 市町村(都道府県)の自立支援・重度化防止等の取組を支援するため、新たな交付金が創設
- 交付金は、設定された評価指標に対する評価点数及び第1号被保険者数によって算定される。

指 標	設問数	得点
I. PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築	8	82
II. 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進	46	460
(1) 地域密着型サービス	(4)	(40)
(2) 介護支援専門員・介護サービス事業所	(2)	(20)
(3) 地域包括支援センター	(15)	(150)
(4) 在宅医療・介護連携	(7)	(70)
(5) 認知症総合支援	(4)	(40)
(6) 介護予防／日常生活支援	(8)	(80)
(7) 生活支援体制の整備	(4)	(40)
(8) 要介護状態の維持・改善の状況等	(2)	(20)
III. 介護保険運営の安定化に資する施策の推進	7	70
(1) 介護給付の適正化	(6)	(60)
(2) 介護人材の確保	(1)	(10)
計	61	612